

平成29年3月13日

天理市議会議長 大橋 基之様

経済産業委員会  
委員長 榎堀 秀樹

経済産業委員会視察報告書

視察日程 平成28年11月8日(火)～11月10日(木)

視察先及び調査事項 長野県安曇野市 11月8日(火)  
調査事項「歩いて楽しいまちづくりプロジェクトについて」

群馬県草津町 11月9日(水)  
調査事項「景観に配慮した魅力ある町づくりについて」

長野県長野市 11月10日(木)  
調査事項「善光寺周辺地区街なみ環境整備事業について」

視察議員 委員長 榎堀 秀樹  
副委員長 東田 匡弘  
委員 廣井 洋司  
委員 中西 一喜  
委員 仲西 敏

随 行 議会事務局 河合 宏明

## (1) 視察先及び目的

### 1. 長野県安曇野市

調査事項「歩いて楽しいまちづくりプロジェクト」

#### 目的

市民が歩いて地域の良さを再認識し、市民全体で良さを楽しみながらつなぎ、活かしていくまちづくりについて調査を行い、今後、予定されている奈良県芸術家村と本市の観光資源とを関連させ、本市の観光事業の発展に繋がっていききたい。

### 2. 群馬県草津町

調査事項「景観に配慮した魅力ある町づくり」

#### 目的

草津町のシンボルの「温泉」を第一級の観光資産として更に魅力あるものにしようと「景観ルールづくり」、「湯畑広場の再整備」の二つの事業を進展させ、観光による経済の活性化に取り組んでいる。この部分について調査し、現在工事中の天理駅前広場が、本市のシンボルとなり、観光、経済が活性化するような取り組みに繋がっていききたい。

### 3. 長野県長野市

調査事項「善光寺周辺地区街なみ環境整備事業」

#### 目的

善光寺周辺地区は、約 1,350 年前に開かれた善光寺を核とした門前町で、善光寺独特の街なみや土蔵づくりの商家の街なみなど特徴ある景観が残されています。

今後、本市に建設が予定されている奈良県芸術家村の構想もあり、環境や景観に適した建物建設の先進地事例を調査する。

## (2) 視察概要

### 1. 安曇野市役所

①視察日時 平成28年11月8日(火)13時30分～15時

②調査事項

「歩いて楽しいまちづくりプロジェクトについて」

③視察先対応者

市環境基本計画推進会議 岡江副会長  
市民生活部環境課環境政策係 中村主任  
潮沢(うしおざわ)ロマンの会 宝会長

④施策概要

平成19年度に策定された「環境基本計画」に基づいて、「自然と人々が共存・共栄する持続可能な社会を築き、市民の健康で豊かな生活を実現するとともに、将来の世代に良好な環境を引き継いで行くこと。」を目的に安曇野市が定めたものであります。

この計画を実践する「環境行動計画」の目標の一つとして、「身近な水辺を育み地域の歴史と文化を大切にすること。」が掲げられ、そのための具体的な活動として、このプロジェクトが位置づけられており、市民が市内を歩いて身の回りの「いいところ」を知り、その良さに共感する人々と交流し、楽しみながら守り育て、コミュニティや地域の活性化等を促すことを目的としています。

安曇野市では、潮沢区というところが、この取組みのモデル地区となり、現在、同区と事務局、環境基本計画推進会議委員、市民団体等が連携して活動をされています。

同区では、いくつかの散策ルートの発見や、知らなかった地域の歴史、文化、資源等への理解が深まり、また安曇野ならではの環境や風景を楽しめる等の評価を得ているという事です。

ただ、現在は、地域全体を巻き込んだ事業までには至っておらず、観光資源として、人を呼ぶための呼び水とはなっていないということである。

⑤参考資料

- ・安曇野市の概要 資料1
- ・歩いて楽しいまちづくりプロジェクト 資料2

- ・安曇野市の概要 平成28年度版
- ・第1次安曇野市総合計画

### (3) 考察と今後の課題

市民主体で、良さを見つけながら、また知らなかった地域の歴史や文化の理解を深めるということは、一定の評価をするべきと考える。近頃はウォーキングも流行となっており、地域の情報を内外に発信することにより、来訪者の増が予想され、またロマンを感じながら観光するというのも楽しいものである。

本市も日本最古の道といわれている「山の辺の道」があり、多数の観光者、ハイカーが訪れており、教科書には載っていない興味深い歴史があれば、幾度も本市を訪れてくれることになるのではないかと考える。

この事業を参考にしながら、県が設置予定している国際芸術家村と関連づけることにより、今後の観光事業がより活性化し、本市を訪れる観光者の増加も見込めるのではないかと考える。

## 2. 草津町役場

①視察日時 平成28年11月9日(水) 13時30分～15時30分

### ②調査事項

「景観に配慮した魅力ある町づくりについて」

### ③視察先対応者

黒岩町長

企画創造課 青木課長

〃 市川係長

### ④施策概要

草津町のまちづくりについて、草津町長の黒岩氏より直接説明を伺った。

まず、草津町は、1990年代には、300万人を数えた来訪者も、2010年には265万人にまで落ち込み、湯畑周辺には2つの廃業した旅館の跡地が仮設の駐車場となり跡地周辺には電柱が乱立し、温泉街の情緒を失っていたということです。

この状況を、黒岩町政が誕生後、景観まちづくりを着実に、

温泉街の中心に約20年間放置されていた仮設駐車場を廃止し、時代の積層が感じられるまちづくりの整備が行われました。

町長からは、当時の様々な話を聞くことができ、町長就任時には町の財政が良くなかったことや、住民の抵抗を受けながらも新しい事業を実施したことなどを聞き、結果として、草津温泉は、プロが選ぶ日本の温泉地百選では13年連続日本一に選ばれ、その投票の内容では、街の雰囲気は泉質を抜く結果となり、わずか5年で300万人を超えるまでに回復している。

今年度においては、「草津灯路計画」として湯畑や西の河原公園内の照明を一新し、各々の観光スポットを灯りで結ぶ新たな取り組みを行っている。

#### ⑤参考資料

- ・白根山の現状と防災対策について
- ・百年を見据えた付加価値の高いまちづくり
- ・「ビジネス視点」で温泉街を改革
- ・草津の景観まちづくり

### (3) 考察と今後の課題

住民の主導で温泉街5地区の景観ルールづくりを行い、さらに看板類の規制や「新築の建築物は6階までしか建てられない」などと決めた草津町景観まちづくり条例を施行。多額の資金を投じて、湯畑周辺の電線の地中化も進めている。

財政を平準化せず、むしろ観光客が集まる時期、集まる場所にとことん投資するという町長の考え方に大変勉強させていただいた。中心部が栄えるとその波及効果で外周部まで賑わっていくというものであり、実際に草津町では、その効果で賑わっている。

天理駅前周辺は、現在、多額の資金を投入し、街の活性化を目指し開発を行っている。視察で学んだ「百年を見据えた付加価値の高いまちづくり」をめざし、本市の今後の観光産業活性化のため努力してまいりたい。

### 3. 長野市役所

①視察日時 平成28年11月10日(木)10時～12時

②調査事項

## 「善光寺周辺地区街なみ環境整備事業について」

### ③視察先対応者

都市整備部 まちづくり推進課  
歴史的まちなみ整備室 関課長補佐兼室長  
小嶋係長  
塚田主査

### ④施策概要

住環境の整備事業を必要とする区域において、地域住民（建物外観）と行政（公共施設）の協働により、ゆとりとうるおいのある住宅地区を形成することを目的とし、

#### 1. 協議会活動助成事業

年間40～50万円程度の助成。現在は、戸隠地区に年間40万円程度助成している。

#### 2. 整備方針策定事業

整備方針の策定

#### 3. 街なみ整備事業

電線類の地中化、道路美装化、水路整備等

#### 4. 街なみ整備助成事業の4つの事業を主に行っている。

街づくり協定に従って行われる建造物の整備（修景）等に対する助成、景観重要建造物・歴史的風致形成建造物の整備に対する助成。

### ⑤参考資料

- ・長野市における街なみ環境整備事業の取組み

### (3) 考察と今後の課題

概要説明のあと、善光寺周辺で現地視察を行ったが、電線類の地中化、道路美装、街並みにあわせた修景等、門前町の歴史ある街並みを地区住民と一体となって守り育てていることが感じられた。

本市のまちづくり計画にも、電線類の地中化や街並みにあわせた修景など、景観や環境に適したものを取り入れることにより、街の活性化につながるのではないかと考える。また、狭い道路は、電柱を地中化することにより、利便性の向上が図れると考える。